

【バージョンアップ】  
統合開発環境 e<sup>2</sup> studio 2022-10

R20TS0880JJ0101  
Rev.1.01  
2022.10.16号

概要

統合開発環境 e<sup>2</sup> studio を 2022-07 から 2022-10 へバージョンアップします。

主な機能改善・変更は以下になります。

- Eclipse platform と CDT(C/C++ Development Tooling)バージョンの更新
- RH850 ファミリー用 C コンパイラパッケージ(CC-RH) v2.04.01 に対応
- RL78/FGIC グループの対応デバイスを追加
- スマート・コンフィグレータの新バージョン(for RX 2.15.0, for RL78 1.4.0)に対応
- CC-RH プロジェクトに関するビルド、デバッグ機能の改善
- リンカスクリプトエディタの機能改善

製品の概要は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.renesas.com/e2studio>

1. アップデート対象バージョン

- e<sup>2</sup> studio 2020-04 から 2022-07 までの各バージョン

e<sup>2</sup> studio のバージョンは、e<sup>2</sup> studio のメニュー「ヘルプ」から、「e<sup>2</sup> studio について」を選択すると開くダイアログに表示されます。

2. バージョンアップ内容

主なバージョンアップ内容を以下に記します。詳細は、リリースノートをご参照ください。

リリースノートは e<sup>2</sup> studio 製品ページの「ドキュメント」に掲載されます。

(10月20日から公開予定)

<https://www.renesas.com/jp/ja/search?keywords=R20UT5198>

2.1 新規機能、機能改善

以下の機能につき改善および変更を行いました。

改善内容の詳細は前述のリリースノートの"What is new in 2022-10?"をご参照ください。

2.1.1 eclipse/CDT プラットフォームのバージョン更新

eclipse および CDT(C/C++ Development Tooling)のそれぞれ新しいバージョンが適用されます。

詳しくは [www.eclipse.org](http://www.eclipse.org) より、以下の資料をご参照ください。

e <sup>2</sup> studio バージョン	2022-07	2022-10	
eclipse	4.23 (2022-03)	4.24 (2022-06)	<a href="#">Eclipse Project 4.24</a>
CDT	10.6.0	10.7.0	<a href="#">eclipse Wiki – New in CDT 10.7</a>

### 2.1.2 対応コンパイラの追加

RH850 ファミリー用 C コンパイラパッケージの v2.04.01 に対応します。RH850 ファミリーのシングルコアデバイスで利用可能です。

対象のデバイスで同コンパイラを使用したプロジェクト作成およびビルドが可能になります。

### 2.1.3 新デバイス対応

RL78/FGIC グループ(電池残量管理 IC)のうち、下記デバイスのサポートを追加します。

対象のデバイスでプロジェクト作成、ビルド、デバッグ機能が利用できます。

- RAJ240310, RAJ240055, RAA240123

注意： RAJ240090 および RAJ240100 は 2022-07 よりサポートされています。

### 2.1.4 スマート・コンフィグレータ新バージョン対応

以下のスマート・コンフィグレータにつきそれぞれ新しいバージョンに対応します。詳細についてはそれぞれのリリースノートをご参照ください。

➤ スマート・コンフィグレータ for RX 2.15.0

コード出力時にレジスタ値の出力形式としてマクロ定義か 16 進数かが選択可能になります。

➤ スマート・コンフィグレータ for RL78 1.4.0

対応デバイスを追加します。

### 2.1.5 CC-RH プロジェクトにおけるビルダおよびデバッグの機能改善

CC-RH プロジェクトについて、以下の機能の追加・改善を行います。

➤ CC-RH プロフェッショナル版の MISRA-C チェッカ機能に対応

- MISRA-C チェッカおよびチェック結果のファイル出力機能が CC-RH プロジェクトでも利用可能になります。

➤ Stack Analysis ビューの対応

- リンカオプション `-stack` により出力されたスタック情報ファイルを基に関数毎のスタックサイズを列挙します。

➤ 外部トレース機能のサポート

### 2.1.6 リンカスクリプトエディタの機能改善 (GCC/LLVM プロジェクト)

リンカスクリプトエディタは、複雑な構造のリンカスクリプトを扱うことが可能な新しいエディタに置き換わります。スクリプトの構造に由来する誤った警告はこれにより解決されます。

### 3. アップデート方法

e<sup>2</sup> studio の製品ページ(下記の URL)からインストーラをダウンロードし、インストールを行ってください。(2022-10 は 10 月 20 日から公開予定)

<https://www.renesas.com/e2studio>

インストーラは「ドキュメント&ダウンロード」の Downloads 欄内に掲載されております。

注意 1 : インストール済の e<sup>2</sup> studio に上書きインストールしないでください。

インストール先のフォルダパスに全角文字、半角カナ文字、および”\_”(アンダースコア)以外の記号が含まれないようにしてください。

注意 2 : 本製品は 64 ビット版 Windows OS でご使用ください。

32 ビット版の Windows OS では動作しません。

注意 3 : RA ファミリ、RZ/A3UL、RZ/T2M および RZ/N2L グループ、Renesas Synergy™については、ソフトウェアパッケージが同梱されたインストーラをお使いください。以下のサイトより入手できます。

RA ファミリ : <https://github.com/renesas/fsp/releases>

RZ/A3UL グループ : <https://github.com/renesas/rza-fsp/releases>

RZ/T2M グループ : <https://github.com/renesas/rzt-fsp/releases>

RZ/N2L グループ : <https://github.com/renesas/rzn-fsp/releases>

Renesas Synergy™ : <https://www.renesas.com/software-tool/e-studio-renesas-synergy>

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Oct.16.22	-	新規発行
1.01	Oct.16.22	1	リリースノートへのハイパーリンクを修正

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

[www.renesas.com](http://www.renesas.com)

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

[www.renesas.com/contact/](http://www.renesas.com/contact/)

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。